

編集後記

2010年度がスタートし、4月号の特集テーマとして仮設工でまとめさせていただきました。「仮設」というキーワードを使いインターネットで検索してみると、予想を上回る13,300,000件がヒットし、建築や建設でのいろいろな工法や計画、資機材で使われているのだと再認識いたしました。絞込み検索をしていかなないと先へは進めません。お先真っ暗で、長いトンネルへ入っていきそうでした…。

頭の中では、建築や建設工事における作業足場、現場で使う機械・電気設備、計測装置等とさまざまな仮設が思い浮かびます。具体的に何を掲載するのとなったときに、範囲が広すぎてなかなか絞りが絞れず悩んでいたところ、いろいろな方から助言をいただき助けていただきました。感謝です。

4月号「仮設工」特集では、巻頭言に軽仮設リース業協会 関山会長に「建設業界を支える軽仮設材の役割」について経験談を含め執筆いただき、特集として仮設工について現場で使用される機械電気設備の紹介

や計測技術の紹介、ラック足場や法面用の足場といった、最近の作業足場技術や環境に配慮したエコ事務所について紹介いただきました。

仮設足場等については仮設だからという意識から、どうしても安全に対する意識が下がり気味になりがちです。コスト意識が走りすぎると、仮設備に対する検討が不十分となり、安全に対する注意意識が弱くなり、重大事故にもつながりかねないと思います。建設現場では仮設計画が出来たら工事は終わったようなものと言う人もおり、仮設こそ重要なこと、作業足場だけでなく、機械電気設備の十分な計画や検討が必要です。建設業界で仕事をさせていただいている身として、現場における仮設の安全管理の重要性を実感しています。今回の報文で皆様の仮設への意識を少しでも強めていただければ幸いです。

最後になりますが、執筆原稿の締め切りが2月とお忙しいなか、ご執筆をいただいた方々には深く感謝申し上げます。誌面を借りて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(赤神・久留島)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (株)東京建設コンサルタント

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
高木 幸雄	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡緒	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

5月号「建設施工におけるコンクリート」予告

- ・コンクリート耐久性向上に向けたガイドライン (案)
- ・ICタグを活用したコンクリートの偽装防止対策に向けて
- ・品質の良いコンクリートを造るために
- ・生コンの品質向上への取組み
- ・コンクリート生産設備に求められる「生コン品質向上」における現状
- ・超早強・超高強度コンクリートを利用したプレキャスト・プレストレストコンクリート (PCaPC) 梁の適用とさらなる開発
- ・フルサンドイッチ型合成セグメントの構造特性と製造方法について
- ・暑中コンクリートの運搬中の温度上昇に関する研究
- ・150 N/mm²級超高強度コンクリートのポンプ圧送
- ・コンクリート自動連続成型機械による路側構造物の施工事例
- ・FSフォーム工法 (透水型砕工法) によるトンネルインバート施工
- ・コンクリート養生システムの開発
- ・土木構造物を対象としたコンクリートの品質確保に向けた技術開発

No.722 「建設の施工企画」 2010年4月号

[定価] 1部 840円 (本体 800円)

年間購読料 9,000円

平成22年4月20日印刷

平成22年4月25日発行 (毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-8-26	電話 (092) 436-3322